

as

animal specialist

アニマルスペシャリストのためのワーク・マガジン

A Monthly Magazine No.264 January 2012



好評連載

現場で正確に動ける
臨床動物看護技術
ポジティブに向き合おう
クレーム対応の
マインド&スキル
ほか

隔月企画

新・今さら聞けないシリーズ
動物福祉ってなんだろう？

特集

動物看護師が活躍する
新たなステージ

「往診」と 「訪問診療」の 現場から

2012

1



interzoo

飼い主さんがよろこぶ! 手づくり パンフレット・ポスターをつくろう

さくら動物病院（長野県） さくら通信

眼科の「ワンチャンス」

先日、東京で開催された国際眼科セミナーに参加してきました。眼科は当院では力の入っている分野の一つで、大変奥の深い科目なのです。動物は人間のように「眼が痛い」とか「眼がかすむ」と細かく伝えてくれません。

症状：「眼が細い」「目やにが多い」「眼が赤い」「ぶつかる」「涙が多い」

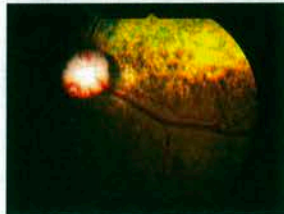
などの症状が出てから初めて病院に来ることがほとんどです。しかも緑内障のように高眼圧になると「元気がない、怒りっぽい、食欲がない」等の漠然とした症状から始まり、オーナーが気付く「目が大きくなった」という症状は、いわゆる「牛眼」といって完全に失明して選択肢は、「眼球摘出」か眼球を温存するのであれば「シリコン義眼挿入術」しかありません。つまり眼科疾患は誰もが気付く症状の時はほとんどの場合末期的な状態です。私たち動物病院はちょっとした症状（眼が細い、目やに、眼が赤い）で来院した時が最初で最後の「ワンチャンス」、診断名という結果を出さなければならないのです。ちなみに緑内障の初期症状は眼が少し赤い結膜炎様の症状しかありません。でもここで診断しないと失明してしまいます。

以上の様に大変シビアな分野なので、現在私は月に最低でも1~2回自らの知識の確認、更新のため眼科セミナーに通い、スタッフの伝達セミナーをおこなっています。

なぜなら、「ワンチャンス」逃さないように。



《白内障を起こしている眼》



《正常な眼底像(眼の奥の網膜の部分)》
院長

編集後記

小踏でもようやく桜が咲いて、春らしさを感じるようになってきました♪
桜は私の一番好きな花ですが、すぐに散ってしまうのが惜しいところでもあり、またそこが桜の優しさを実感できる良いところでもあるのかな…と感じます。

今年度、さくら動物病院は桜の木と4名の新人を新しく迎え、いよいよ10年目に突入します。今後多くさんの幸せの一助になるべく、日々の診療や動物達のケアを行ってまいりますので、よろしくお祈り致します(*^_^*)

獣医師 山浦

さくら通信

平成23年 5月発行
《発行所》 さくら動物病院
新聞編集委員 山浦

フィラリア症予防をしよう

暖かい日が続き散歩に行く機会も増えるこの季節、過ごしやすいたはいえ『蚊』の発生が気になるかと思えます。今回はその蚊が媒介するフィラリア症についてご紹介します。

＜フィラリア症の基本Q&A＞ 心臓に寄生したフィラリア成虫→

Q: どんな病気なの?

A: 蚊が媒介する寄生虫病です。感染犬の血を吸った蚊に刺されることで感染し、多数の成虫が心臓に寄生すると様々な症状が出ます。重度の感染の場合は死にいたる怖い病気です。

□咳が出る □元気がない □呼吸が苦しい □食欲がない □お腹が膨らむ □尿が赤い

Q: 予防薬（駆虫薬）はいつ飲むの?

A: 春から秋（5月末～11月末）にかけて毎月1回薬を飲めばほぼ100%予防できます。では蚊の発生時期と投薬時期に1ヶ月のずれがあるのはなぜでしょうか。フィラリアは体内で脱皮をしながら成長するのですが、この薬は感染して「1ヶ月後の幼虫」でないと十分に駆除できないのです。よって蚊がいなくなっても必ず1ヶ月後に薬を飲んで駆除する必要があります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
蚊の発生期間								
投薬期間(月1回)								

※投薬の前に必ずフィラリアが感染していないかの検査を受けましょう。万が一感染している場合に駆虫薬を飲むとショックなどの副作用を起こす場合があります。

Q: フィラリアに感染するのはただけなの?

A: いいえ。猫やフェレットなどにも感染します。感染した場合に無症状のことが多いですが突然死する場合もあります。診断が難しいため予防が大切です。

獣医師 内藤

《お知らせコーナー》

5月の休診日

10, 17, 22, 24, 31日

・午後休診日

8, 12, 15, 19, 26, 29日

・院長不在日

11, 13, 15, 16, 21, 25, 29日

14日(amのみ)

ホームページ <http://www.sakura-komoro.jp>

携帯でもさくら動物病院のサイトに

アクセスしていただけるようになりました!

詳しくはこちら→

大好評のいた

います!

ここが POINT

POINT ①

文字だけにならないように気を付けながら、写真やイラストを多く取り入れてつくっています。また、新人紹介や院内で季節ごとに行ったことを「さくら通信」を通して伝えています。これにより、病院でのさまざまな出来事を飼い主さんに伝えることができます。

POINT ②

作成者を固定せず、スタッフみんなで作っています。それにより、スタッフ一人ひとりが飼い主さんに伝えたいことを伝えられる場となっています。

POINT ③

季節ごとの内容や犬種別の特徴、なりやすい病気など、飼い主さんの立場に立って、今飼い主さんがほしいテーマは何かを考えながらつくっています。

POINT ④

病院で行っている飼い主さん向けのセミナー「さくらスクール」などを行ったときには号外も出しており、セミナーに参加した飼い主さんの感想も載せるようにしています。セミナーに参加できなかった飼い主さんへ、セミナーの様子や内容などを伝える意味もあります。

